9月定例市議会

一般会計補正予算 八百二十七万円を増額

九月定例市議会（第二百八回議会定例会）が九月十六日に開会、三十日までの十五日間の日程で開かれ、昭和六十三年度南国市一般会計補正予算など十六議案を可決、保育制度及び国庫負担の確保、充実等に関する意見書など六つの意見書を採択しました。

市政報告

議会の開会にあたり、市長は七月から九月までの市政の経過と現状を次のように報告しました。

◪財政

本年度の一般会計の状況は、主要財源である普通交付税が前年度に比べ県下九市の平均伸び率を大きく上回る九・六％、二億一千二百三十七万七千円増加した。市税については法人税の増収が予想されるが、九月補正予算の一般財源、人事院勧告による職員の給与改定、退職手当などの追加需要が大幅に見込まれている現状で、財源確保に苦慮している。

開発公社への支払いは当初予算一億六千三百六十六万二千円、九月補正予算一千九百三十四万七千円を計上している。年間三億円の負債計画は数年来実行しかねている。このような財政事情を打開するために財政再建審議会に諮問している。

◪同和対策

小集落地区改良事業については、法律の期限内に計画事業を完了するよう全力投球を続けているが、地区住民の協力により比較的順調に進捗している。六十二年度末には改良住宅建設事業でかなりの繰り越し事業があったが、年度内には完全消化ができることになっている。本年度事業分についても改良住宅用地と不良住宅の買収に全力を注いでいる。

◪行政改革

既に行政機構改革、職員の給料表の改正などを実施、また退職手当の支給率の改正も六十四年度から実施される。今後の課題は受益者負担の適正化と定員管理の適正化であるが、本年度後半精力的に検討し、可能なものから順次六十四年度実施をめどに結論を出したい。

事実上機能を停止している財団法人南国市開発公社については早期解散に向けて取り組みを進めている。

◪農業問題

米作を取り巻く環境は引き続き厳しい状況にあり、国は最近の米需給の動向と今後の見通しから消費、流通、生産にわたる米需給均衡化緊急対策により米の需給均衡の回復に努めている。

本市においては八月末現在で転作等目標面積一〇六㌶の達成見通しとなっている。緊急対策についても当初の目標を達成、米穀売り渡し限度数量がほぼ昨年並みまで回復される見通しである。今後とも農業者、関係農業団体の協力をお願いし、水田農業の確立に努力していく。

◪都市対策

後免町の活性化についてはこれまで種々の検討を重ねてきたが、本年度当初予算に住環境調査費を計上した。このほど二十一世紀に向けての発展の動向と都市整備のあり方について基本的な方針構想を策定するため、財団法人全国市街地再開発協会に委託、六十四年度には基本構想を地区住民に提示できる見通しとなった。関係住民の皆様方の合意によるよりよい整備計画を策定したいと考えている。

後免町商店街

◪廃棄物処理

本市は現在、廃棄物処理施設関係で廃棄物最終埋め立て処分場とし尿処理施設という二つのプロジェクトに取り組んでいる。両施設とも最新の技術と設備を導入、長期安定的な廃棄物処理体制を確立し、市民の期待にこたえるよう鋭意取り組んでいる。用地選定作業を終えれば施設の概要や立地場所について廃棄物処理委員会に諮り、関係地域と協議に入る予定である。

黒滝し尿処理場については、機器の最終点検と対策を実施した結果、契約条件を満たしてはいないが、次第に改善、機能的に安定した状態にある。引き取り条件については業者と協議を重ねている。この施設は今後四、五年間稼働に耐える見込みであり、新施設へ移行させていく計画である。

◪教育

本年度の重点施策の一つである親と教師による海外教育事情視察が実施され、鈴江教育長以下二十人が八月二十二日から二十七日までバンコク、香港の日本人学校と現地校を視察。初めての試みであったが、多大の成果を収め、わが国の教育水準等は誇りうるものの、教育の質的な面においては国際的視点から見直すべきであるとの報告であった。

教育施設については白木谷小学校屋内運動場、奈路小学校校舎増改築、香南中学校屋内運動場等の義務教育施設整備の年度内完成を目指している。野田公民館建設事業は来年一月末には完成の予定である。

一般質問

九月定例市議会の一般質問は二十日から二十二日、二十六日の四日間行われ、山本（弘志）、土居、中屋、紀伊、小沢、西岡、中村、竹内、山崎、高島、吉村各議員が都市計画講想や教育問題などについて執行部の考えをただしました。その主な内容は次のとおりです。

□行政改革について

◪行政改革において問題になるのは受益者負担の適正化と職員の配置、管理の適正化である。職員を貼り付けなければならない職場もあるが、極力検討して人数を減らさなければならない。職員配置の見直しについては現在作業を進めており、なるべく少ない経費で事業を推進していかなければならないと考えている。

□都市計画について

◪後免町については、ごく最近になって町の中にこれではいけないという機運が生まれ、有志による地市の視察も行われた。現在、商店街の活性化と整理の方向を総合的に考える町全体の基本構想策定を委託している。六十四年三月には構想が出来上がってくると思う。この作業である程度把握できた段階で関係住民や議会の関係機関と話し合い、基本計画を仕上げたい。今年を後免町再開発元年と感じとっていただきたい。

駅前道路についてはかなり抵抗があると思うが、これを進めていくことによって町全体に大きな効果があると期待している。JR後免駅、後免町駅は都市開発においても非常に大きな意義を持っており、阿佐線によって市の東の地域が開発されると考えられる。

公園緑地について、今土曜市が使用している土地は近隣公園として持続したい。緑地については既に計画が決定している。小集事業の跡地は今すぐは手がつけられないが、都市計画の進行に従って公園化していこうと考えている。

□廃棄物処理場建設について

◪最終理め立て処分場の建設用地については、当局並びに専門家によって地理的、物理的条件を検討した結果、客観的に諸条件が最適である候補地がしぼられ、廃棄物処理委員会に説明を行った。地元の方にはたいへん心配りが不十分で申し訳なかった。迷惑施設であり、歓迎されることはめったにないが、忍耐強く接触し、ぜひ実現させていただきたい。

廃棄物処理委員会の答申を待って議会の同意を得たい。現在の処理場が後一年半しか余力がないので、新処理場の供用を六十七年度に開始するために、事務当局としては六十三年度中に用地を決定していただきたい。用地決定後は地権者の同意を得ながら測量、環境影響調査を進め、六十五年に実施計画を立てたい。

黒滝し尿処理場については、当初の目標には達していないが、現状であればどうにか間に合うだけの性能を発揮している。

□海外教育事情視察について

◪これからの国際化の時代に対応する夢のある事業としてぜひ継続したい。視察の成果は、広く各方面に伝えて共に考えてもらうというのが大切ではないかと思う。その方法として団員の感想文を小冊子にまとめ、各方面に配布する予定である。また、学校における報告会等を実施、今後の学校教育、家庭教育のあり方を見直したい。ビデオ、スライドを編集して教材化し、授業のなかで活用することも考えている。

□スポーツ施設について

◪吾岡山のカット事業完了後は日本セメントから市が無償譲渡を受けることになっているが、跡地利用については推進会の皆さんの意見、市民、あるいは市役所内の意見も調整してよりよい計画を立てたい。総合グラウンド化も考えている。物部川河川敷の利用について、建設省では六十四年度に予算化し、六十五年にかけて実現する意向である。

比江グラウンドの代替地については適地が見つからず、代替グラウンドを早期に設置するのは困難であると考えている。当面は工業団地内の緑地を利用、ソフトボールができるくらいの土地を確保したい。

□明見の住宅供給公社の土地の利用について。

◪中小企業公社から直接の意思表示はないが、明見団地工場共同利用事業として考えているようだ。工場団地の業種は金属、機械の企業を主体に従業員規模五人ないし二十人規模の企業を十五ないし二十社、これは高知市、南国市のなかの企業をという計画になっている。

可決された主な議案

◪昭和六十三年度南国市一般会計補正予算＝八百二十七万二千円を追加補正。財源は六十二年度決算に基づく繰越金と地方交付税。内容は集落整備事業費二千七百二万五千円、美しいまちづくり推進事業費二千六百万円、財団法人南国市開発公社の解散を前提とした開発公社支払い二千九百三十四万七千円など。

◪昭和六十三年度南国市下水道事業特別会計補正予算＝浦戸湾東部流域下水道事業にかかる負担金四千百八十万円の増額。

◪昭和六十二年度南国市水道事業会計決算の認定について＝収益的収支においては総収益三億七千九百三十四万六千円、総費用三億四千三百八十一万七千円で、当年度純利益三千五百五十二万九千円を計上。資本的収支においては総収入五億三千七百八十八万六千円、総支出六億四百九十四万九千円で、不足分六千七百六万三千円は減債積立金過年度分損益勘定留保資金で補塡。

◪町の区域及び名称の変更並びに字の廃止について＝東崎地域の一部の住居表示を昭和六十四年二月一日より実施する。

◪南国市公共下水道管渠布設（篠原汚水幹線）一工区工事請負契約の締結について＝篠原地区の国道一九五号線直下に延長三三〇・八五㍍の下水道管渠を布設する。工事費一億二千二百万円で昭和六十四年三月二十五日完成予定。

◪市道の認定について＝円岳寺線、能間北線、左右山川北線を市道に認定する。

九月定例市議会の議事録は、十二月以降市立図書館で閲覧できる予定ですので利用してください。